



学校教育目標 『よく見つけ、よく考え、健康で実行力のある生徒の育成』
令和8年度テーマ 『自ら考え、周囲と協同して未来を拓くことができる生徒の育成』

校訓
知性 創造 練磨 友愛

大東市立深野中学校

[↑トップページ](#)[学校情報](#)[学校日記](#)[臨時休校等について](#)[リンク](#)[相談窓口](#)

学校日記

[トップページ](#) > [学校日記](#) > [学校生活](#) > [詳細](#)

9月3日(木)…あいさつと読書

公開日:2026/09/03

更新日:2026/09/03

学校生活



【あいさつと読書】と題して、9月3日に学校ホームページのブログ(学校日記)をアップしました。ブログの中でも伝えていますが、改めて伝えます。



学校HPへ

「あいさつと読書」には共通点があります。「あいさつ」は人とのつながりを深めてくれます。「読書」は心を落ち着かせ、自分自身と向き合わせてくれます。

どちらも心を育ててくれる行為であり、生活(人生)を豊かにしてくれる大切なものです。

私(校長)が大切にしている「あいさつ(心)」が五つあります。『日常の五心』です。

「はい」という 素直な心
「ありがとう」という 感謝の心
「すみません」という 反省の心
「おかげさま」という 謙虚な心
「私がします」という 奉仕の心



日々の生活の中で私たちが持つべき大切な心の在り方を示している言葉です。特に人とのつながりの中では、これらの言葉を、心を込めて声にしていくことで、周りの人たちとの関係が、確実に今よりも良くなっていきます。

(裏面に続く…)

「はい」という素直な心

呼ばれたら気持ちよく返事をする。返事には「あなたの話を聞いています」という意思が表れます。素直な返事は、人との信頼関係をつくる第一歩です。相手の目を見て「はい」と言えたら素敵ですね。

「すみません」という反省の心

謝ることは、決して「弱さ」ではありません。間違えることは誰にでもあります。間違いは失敗ではなく、反省することで自分を成長させる大切な経験です。心からの「すみません」は、あなたの「強さ」になっていくでしょう。

「ありがとう」という感謝の心

感謝の言葉は、言った人も言われた人も温かい気持ちにします。いろいろな場面で「ありがとう」がいえると、みんなが安心して過ごせる場所になります。何気ない「ありがとう」が周りに笑顔をつくってくれます。

「おかげさま」という謙虚な心

私たちは決して一人で生きているわけではありません。家族や友だち、地域の方々など、多くの支えがあって今があります。そのことに気づく言葉が「おかげさま」です。この謙虚な気持ちを忘れずにいたいところです。

♡ちょっと深い話(あいさつ)♡

宇宙飛行士には、技術や体力だけでなく「あいさつ」が評価項目にあります。「あいさつ」が仲間の体調や気持ちの変化を知る大切な合図だから…。ある宇宙飛行士は、「あいさつがミッシヨン成功の第一歩だった」と語っています。

「私がします」という奉仕の心

誰にでも、やりたくないことや大変なことがあります。そのときに「私がします」と勇気をもって一歩踏み出せる人は、確実に自分自身を大きく成長させてくれます。そして、その姿は周りへの信頼につながっていきます。

校長先生版『読書のすすめ』

「本」はあなたの知らない世界を広げてくれます。読みきらなくてもいいし、一行だけしか読んでいなくても「本」は、あなたを叱りません。

「本」はあなたの興味のあることや好きなことをさらに深めてくれます。

「本」は静かに心に寄り添ってくれる友です。



とはいっても、実際に本を読む行為は、なかなか定着しない人にとっては決して簡単なことではありません。

実際…私(校長)もどちらかというとなかなか定着しない方です。(*^_^*)

しかし、脳科学の視点からみると、読書が苦手な人ほど、短い時間で興味のあるところだけを読むことが効果的だと言われています。

脳は、難しいことよりも「少しできた」という経験を好みます。

朝の10分という脳が最も活発になる時間に「本」を開いてみるだけで脳は喜ぶそうです。

一人でも多くのみなさんが“読書”を通して、「本」の世界に足を踏み入れてくれれば嬉しく思います。「本」を通して、生徒のみなさんの可能性が広がっていくことを願います。

私も少しがんばってみようと思います。

発表！ 校長賞『月間M.V.S.』（1学期 7,8月度）

6月度に続き、7,8月度の月間M.V.S.の発表です。日々の授業をコツコツ粘り強く努力する生徒がどんどん増えていくことを期待しています。なお、9月度からは第Ⅱ期（シーズン2：全4回）です。

